

令和2年度第1回亀岡市社会教育委員会議 会議録

1 日時 令和2年7月22日（火） 午後2時～午後3時30分

2 場所 亀岡市役所 1階市民ホール

3 出席委員

川勝 哲也 委員
吉村 要 委員
野々村誠一 委員
工藤 和之 委員
上田 善郎 委員
美馬喜代子 委員
廣 正基 委員
沼津 雅子 委員

4 欠席委員

中澤 博幸 委員
猪子 純子 委員
池田 恭浩 委員
山田 昌子 委員

5 出席事務局職員

神先 教育長
片山 教育部長
谷口 社会教育課長
山崎 社会教育課人権教育担当課長
岡田 社会教育課副課長
宮川 社会教育課主任

6 傍聴者

なし

7 議事の概要

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) あいさつ 神先教育長
- (4) 委員紹介
- (5) 事務局職員紹介
- (6) 議長・副議長選出
 - ・議長 工藤委員
 - ・副議長 美馬委員

(7) 連絡・報告事項 [事務局から説明]

- ・ 亀岡市社会教育委員の令和元年度活動報告及び令和2年度活動計画について
- ・ 令和2年度亀岡市社会教育事業概要
- ・ 令和2年度亀岡市人権教育事業概要

(8) その他

(9) 閉会

●説明を受けて委員からの主な意見と情報交換

意見等

○ 工藤議長

事務局から説明があったが、各委員の皆さまからも意見等をいただきたいと思う。

○ 委員

学校としても新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、臨時休校期間中は、学校教育ができなくなった。現在は、教育活動が再開となり、学校運営についてもできる限りの回復も目指しているので、地域の皆さんにも協力願いたい。

○ 委員

本校も、6月に入りようやく授業が再開できたが、予断を許さない状況にある。現在、様々な行事が中止となっているが、可能なものについては、実現に努めるとともに、ICT教育等を取り入れていくことも大切である。

○ 委員

地域においても大変な状況であるが、人と人との関わりについて伝えていくことは、大切である。我々は、新型コロナウイルスを「生きた教材」と考えており、正しく情報をとらえ、正しく伝えていくことが大切である。

○ 委員

事務局からは、近畿ブロックPTA研究大会京都府大会については、規模縮小との説明があったが、亀岡市教育委員会をはじめ関係機関と連携しながら取り組んでいただきたい。

○ 委員

厳しい社会情勢の中で、何らかの社会制度を活用しなければならない人も多く、コロナ禍の中で新たな課題が出てきている。元々、苦しい状況にある人が、より一層厳しい状況になる中で、一人ひとりの個性を理解できるような教育が必要である。また、人は一人ひとり違うので、人のことを思うことを育てられるような社会が大切である。

○ 委員

本校では、新型コロナウイルスの関係で人と人とが触れ合うような授業は、できなくなっており、特に実習系ができていない状況にある。このような状況において、新たな考え方をもちながら、新型コロナウイルスを正しく理解して、それにあわせたやり方で進めていくことが必要である。

○ 委員

新型コロナウイルスを考えたとき、人権という視点に立って考えるべきである。感染することは、誰にでもあり得ることを大人が理解して子どもに正しく伝えていくことが大切である。新型コロナウイルスの影響により、インターネットを使った授業も開始した学校もある。事務局から子どもの読書推進事業について説明があったが、臨時休校期間中どのようなことをされたのか。

○ 事務局

亀岡市では、3月3日から、5月末まで市内の小学校、中学校、義務教育学校において臨時休校措置を取っていた。この間、図書館を通じて、子どもたちが読書をする機会を提供するため、予約制で、通常は5冊のところ10冊まで貸し出しを行い、利用者が多く大変好評であった。ただ、4月7日に全国に緊急事態宣言が発出されたのに伴い、一時中止をしていたが、5月からは、予約貸し出しを再開するとともに、6月からは、通常どおり貸し出しを行っている。今後は、読書に向けられた意識をいかに継続することが、図書館の課題であると認識している。

○ 委員

新型コロナウイルス感染症対策として、学校が再び休校措置が取られた場合、指針などはあるのか。

○ 事務局

国からは、新型コロナウイルス感染症対策については、ガイドラインが示されているところであるが、学校の規模や地域の実情に応じて判断していく必要があり、

教育委員会と学校が状況を見ながら連携していく。今後、臨時休校となった場合、亀岡市教育委員会でもGIGAスクール構想によって、1人1台のパソコンやタブレットなどの端末を使えるよう準備しており、児童生徒合わせた約7,000人に配布できるよう計画よりも前倒しして準備を進めていく。

○ 委員

休校措置が取られた場合の子どもたちへの学習の提供はどのようにするのか。

○ 事務局

それぞれ学校から課題の入ったプリントを配布するとともに、中学校では、生徒が視聴できるような動画による教材も作成いただいている。教育委員会では通信環境を整えていくことが今後の課題である。

○ 委員

事務局にもあったように新型コロナウイルスの影響により、学校で授業ができないため、学校間をまたがって同じ教科の先生が動画による教材を作成している。通信環境の問題もあるため、学校のパソコンも活用しながら実施している。

○ 委員

本校では、3月から休校に入っており、生徒、保護者等には、ホームページを通じて連絡を取っていた。4月に入ると週1回の登校日に合わせ、課題のプリントを渡していた。学校が再開した後は、第2波が来た時に備え、オンラインで授業できるよう準備を進めているが、生徒による個別質問への対応などの課題もある。

○ 工藤議長

本日については、新型コロナウイルスの影響により、学校教育の意見が多かったが、社会教育もPTA関係で正しいスマートフォンの利用等に取り組んでおり、今後も互いに連携しながら取り組んでいただきたいと思います。

以上